

## 第1回教育研究評議会記録

日 時 平成23年4月20日(水) 15:30~16:40

場 所 柏原キャンパス事務局棟 大会議室

出席者 長尾, 栗林, 岩川, 木立, 成山, 野田, 石田, 高橋, 正木, 安福, 米川, 入口,  
木下, 越桐, 白井, 安部, 佐藤, 辻岡, 土井, 大脇, 藤井, 畦(22名)

陪席者 野口監事

傍聴人 田中ひかる准教授

開会に先立ち, 新たに教育研究評議会評議員となった木下教授, 白井教授, 安部教授の紹介がなされた。続いて, 長尾学長から平成22年度第12回教育研究評議会の記録確認がなされた。その後, 議事の進め方については開催通知の順番に進める旨の発言がなされ, 傍聴申請があった1名に対して全ての議題の傍聴が認められた。

### 議題(1) 平成24年度の教員配置について

長尾学長から資料に基づき説明が行われ, 質疑応答の結果, 原案どおり了承された。

#### 【主な質疑】

- ・ 講座ごとの4月1日現在の教員配置数と大学院の専攻ごとの専任教員数が異なる理由について質疑がなされ, 主担講座の教員が必ずしも大学院当該専攻の専任となる訳ではないためであるとの答弁が長尾学長よりなされた。
- ・ 大学院専任教員配置数「教養学科系」の主担講座欄にスポーツ講座が記載されていないことについて, 本表は大学院の事項なので理解はできるが, 教員配置の基本方針の1つとして大学院発足時の教員数を教員配置の基礎基準とするのであれば, 何らかの配慮をしていただきたいとの意見に対して, 配慮はなされるべきだが, それは全体の見直しの中で検討されるべきことだと考えているとの答弁が長尾学長よりなされた。
- ・ 大学院設置基準要件及び課程認定上必要な教員枠を超える配置については, どのような基準で配置を考えているのかとの質疑に対して, 運営費交付金が削減される中, これまでは抑制的に教員配置を行うことで対応してきたが, 最低基準ということだけではなく, 部局長の意向も伺いながら対応してまいりたいとの答弁が長尾学長よりなされた。
- ・ 教員配置の基準をより明確にしていきたいとの意見に対して, 「教員配置の基本方針」として明示しているところであり, 立場によって様々な意見が出てくるであろうことは承知しているが, 公平性については本評議会での審議により担保されていると考えているとの答弁が長尾学長よりなされた。

### 報告事項(1) 平成24年度入試日程について

野田副学長から資料に基づき報告がなされた。

### 報告事項(2) その他

#### 1) 東日本大震災に係る本学の対応について

長尾学長より報告がなされた。

報告事項（２）の終了後、以下の質疑応答がなされた。

**【主な質疑】**

- ・ 教育研究組織等の見直しについては、先日の全学教員会議で説明がなされたが、この間の経緯の説明は終えられたという認識なのか、また、当事案については本評議会での審議事項とはならないのかとの質疑に対して、次週に改革構想検討委員会の開催を予定しており、そこで議題とする予定であるが、審議内容については本評議会においても引き続き適宜報告することとしたいとの答弁が長尾学長よりなされた。
- ・ 改革構想検討委員会での議論や審議経過については、本評議会で報告した上で、必要があれば評議員に対しても意見を聴くことなどの配慮をお願いしたいとの意見がなされた。
- ・ 全体構想に係わる議論がどのようになされているかが見えにくいと感じるので、情報をより発信していただきたいとの意見に対して、そのような意見を踏まえ、改革構想検討委員会において広報活動等を行っており、全学教員会議でも説明してきているところであるが、今後も情報公開には努めていきたいと考えているとの答弁が長尾学長よりなされた。

以 上